

東京経済大学大学院

経済学研究科 入学試験

(2022年度 2期入試)

課 程	修士課程
入試区分	一般入試
試験科目	財政学
出題意図	志願者本人が希望する専修科目と専修科目以外の2科目に関して、学士レベルでの専門的な知識及び理解力、論理的な思考力を問う問題である。
解答例	<p>特定の解答に誘導し、筆記内容が画一的になると、筆記試験が意図する思考・表現力、創造性等の把握が困難になるため、解答例は公開せず、解答のポイント（採点基準）を公表しております。</p> <p><解答のポイント（採点基準）></p> <p>主に以下の点を評価対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 出題意図を念頭に置き、設問の内容を把握できていること。(2) 設問に対する解答に必要となる、専門分野に関する学士レベルの専門的な知識を修得できていること。(3) 設問内容と上記知識との関係を明確に認識できていること。(4) 設問に対する解答を、上記の認識に基づいて論理的に行えていること。(5) 上記の諸点を無理なく読み取れる解答であること。

※ 公開している入試問題等について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2022年度東京経済大学大学院経済学研究科・修士課程

一般入試2期（日本人）入学試験問題

【専門科目：財政学】

（試験時間：90分）

2022年2月21日（月）実施

東京経済大学大学院経済学研究科

※解答は別紙の解答用紙に記入すること。

1. 建設国債の発行による公共事業（公的総固定資本形成）のマクロ経済に与える経済効果を、45度線モデルを用いて説明せよ。
2. 国債の発行による政府消費・政府投資はクラウディングアウトを引き起こす可能性がある。クラウディングアウトについて説明し、クラウディングアウトが発生しない条件について考察せよ。
3. 高度経済成長期の日本は「土建国家」型の福祉国家であったという分析がある。「土建国家」について説明し、「土建国家」型の福祉国家の問題点についても考察せよ。